



エコアクション21
認証番号0001396

エコアクション21 環境経営レポート

(運用期間: 2023年10月21日～2024年10月20日)



尾下紙業株式会社

2024年 11月 20日 発行

目 次

1. 事業活動・組織の概要

- 1－1. 会社概要
- 1－2. 対象範囲
- 1－3. 事業の規模
- 1－4. 沿革
- 1－5. 組織図

2. 環境経営方針

- 2－1. 環境経営方針
- 2－2. エコアクション21実施体制及び責任・権限

3. 環境経営目標(及び基準年の環境負荷)

- 3－1. 環境経営目標
 - 基準年(2021年度)実績
 - 年度目標
 - 中期目標

4. 環境経営計画

- 4－1. 環境経営計画(項目)
- 4－2. 環境経営目標の実績と取組結果
- 4－3. 評価と次年度の取組内容
- 4－4. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 事業活動・組織の概要

1-1. 会社概要

社名	尾下紙業株式会社
代表者名	代表取締役社長 尾下 浩一
設立	1954年(創業1933年)
資本金	1,000万円
従業員数	86名(2024年10月20日現在)
事業内容	・化粧品用段ボール箱の製造及び販売

1-2. 対象範囲

◇本社 (認証・登録対象外)

〒142-0043 東京都品川区二葉3丁目16番地8号
☎03-3781-4976

対象外の理由: 登記上のみの本社の為

◇小田原工場 (認証・登録対象)

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町3丁目1番地22号
☎0465-34-3250

事業内容: 化粧品用段ボール箱の
製造及び販売

環境管理責任者 安藤 雅人
担当者 安藤 雅人
E-mail: m.ando@oshita-shigyo.co.jp

◇花王小田原事業所 (認証・登録対象外)

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町5丁目3番地27号
☎0465-34-3735

事業内容: 花王株式会社小田原事業場内における倉庫管理業務

対象外の理由: 花王株式会社小田原事業場内の協力会社として
同工場で推進しているISO14001の取組に包括
され、一体化した環境管理活動を実施している為

1－3. 事業の規模

事業年度	2024年度(2023年10月21日～2024年10月20日)
売上額	0.8億円
従業員数	86名(小田原工場 10名、花王小田原事業所 76名)
延床面積	1,120m ² (小田原工場)

1－4. 沿革

1933年	東京府赤羽区稲付町にて尾下紙器製作所を設立。
1941年	第2次大戦時、軍の依頼で小銃弾用ボール函を製造。
1944年	戦局激化、強制疎開により製作所を一時閉鎖。
1946年	終戦により上京し、製作所を再開。
1947年	東京都品川区二葉町に段ボール函製造工場を新設。
1954年	尾下紙器製作所を閉鎖し、尾下紙業株式会社を設立。
1963年	カネボウ化粧品大井工場の墨田区鐘ヶ淵移転に伴い、墨田工場を新設。
1969年	カネボウ化粧品鐘ヶ淵工場の小田原移転に伴い、小田原市寿町1丁目に小田原第1工場を新設。
1973年	段ボールケース受注増加に伴い、小田原市寿町3丁目に小田原第2工場を新設。
1978年	印刷用樹脂版製造機を導入。
1979年	ワンタッチケースグルアー(1号機)導入。
1981年	ワンタッチケースグルアー(2号機)導入。
2000年	自動平型打抜機、小ロット用打抜機、カッティングプロッター導入。
2007年	環境マネジメントシステム エコアクション21 認証取得。
2017年	森林認証制度 FSC [®] 認証取得。 ライセンスコード:FSC [®] -C136005 認証番号:SGSHK-COC-350159

1-5. 組織図

本 社

登記上の本社は、東京都品川区二葉にありますが、
実質上の本社機能は小田原工場にあり社長も小田原
工場に常勤しています。

小田原工場

エコアクション21対象範囲

総 務 部

総 務 課

営 業 部

営 業 課

技術開発課

生産管理課

製 造 部

製 造 課

花王小田原事業所

花王株式会社小田原事業場内
に常駐(倉庫業務を請負)し常駐
先の環境管理システム(ISO14
001)に組み込まれ一体的な環
境保全活動を実施している。

事務グループ

原料グループ

副資材グループ

空替グループ

計量グループ

2. 環境経営方針

2-1. 環境経営方針

環境経営方針

尾下紙業株式会社は
誠実・協調・努力・創造・感謝をモットーに
段ボールを通じて、日本の循環型社会に貢献する
企業を目指します

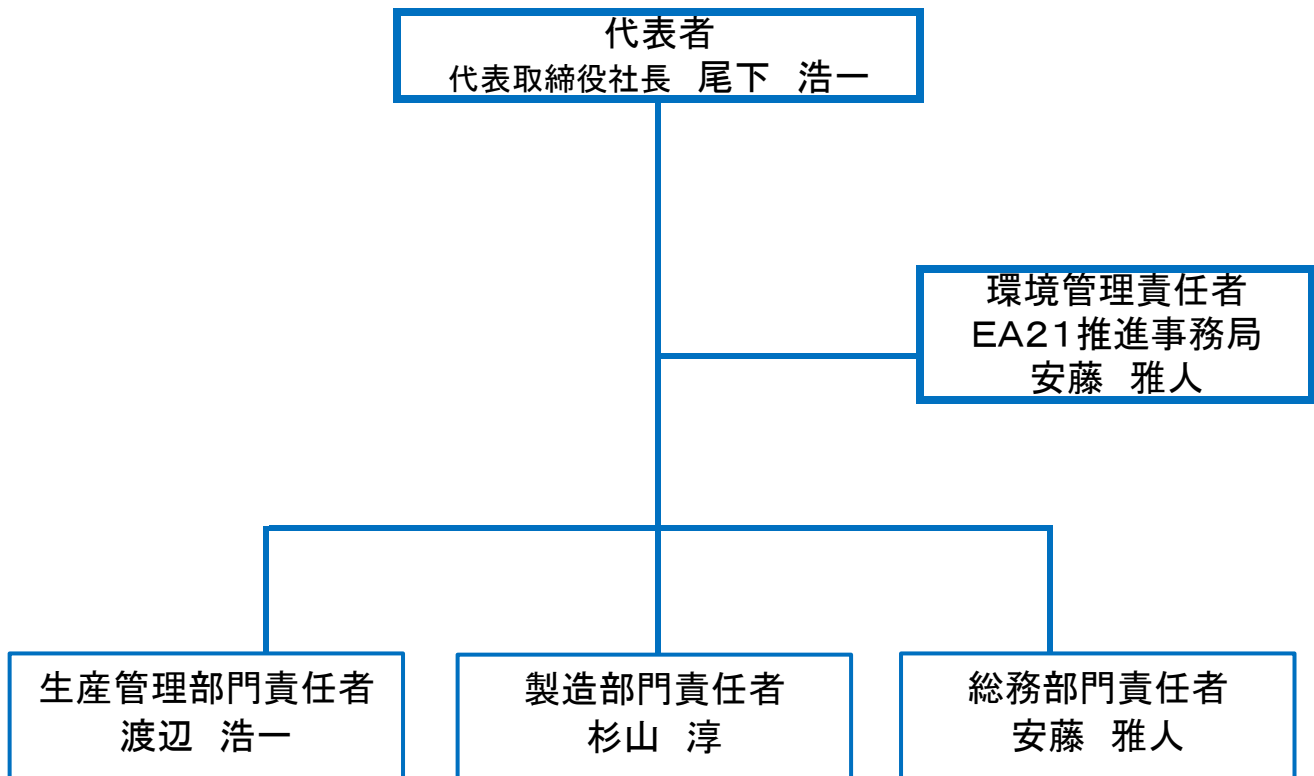
1. 電力、燃料、水の無駄な使用を抑え、使用量を抑制します
2. 製品製造での不良率の低減により、廃棄物の削減に努めます
3. 使用する化学物質の管理を強化し周辺環境への影響の低減に努めます
4. グリーン購入に努めます
5. 環境にやさしい段ボール製品の販路拡大に努めます
6. 全従業員の環境に対する認識を高めるため、教育・訓練の実施に努めます
7. 環境保全に関する法令やその他の規制等を遵守します
8. 私たちが働く地域の清掃活動等に積極的に参加します
9. FSC[®] 認証の紙を積極的に使用します
10. 環境経営の継続的改善に努め、持続可能な社会づくりを目指します

令和6年11月1日



尾下紙業株式会社
代表取締役社長 尾下 浩一

2-2. エコアクション21実施体制及び責任・権限



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21推進事務局	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境経営の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する。 2. エコアクション21の活動に関する提案

3. 環境経営目標

3-1. 環境経営目標

環境経営目標	単位	基準年実績	年度目標	中期目標	
		2021年度	2024年度	2025年度	2026年度
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	39,641.0	39,046.4	38,848.2	38,650.0
【原単位(生産量あたり)】	kg-CO ₂ -t	60.06	59.2	58.9	58.6
			-1.5%	-2.0%	-2.5%
1. 電力使用量の削減【総量】	kWh	70,794.0	69,732.1	69,378.1	69,024.2
【原単位(生産量あたり)】	kWh-t	107.26	105.7	105.1	104.6
			-1.5%	-2.0%	-2.5%
2. ガス使用量の削減	m ³	23.1	22.8	22.6	22.5
【原単位(生産量あたり)】	m ³ -t	0.03	0.0296	0.0294	0.0293
			-1.5%	-2.0%	-2.5%
3. ガソリン使用量の削減	L	727.5	716.6	713.0	709.4
【原単位(生産量あたり)】	L-t	1.10	1.084	1.078	1.073
			-1.5%	-2.0%	-2.5%
4. 軽油使用量の削減	L	3,751.7	3,695.4	3,676.7	3,657.9
【原単位(生産量あたり)】	L-t	5.68	5.59	5.57	5.54
			-1.5%	-2.0%	-2.5%
②廃棄物排出量の削減	t	208.3	205.2	204.1	203.1
【原単位(生産量あたり)】	t-t	0.31	0.305	0.304	0.302
			-1.5%	-2.0%	-2.5%
③水使用量の削減	m ³	418.0	411.7	409.6	407.6
【原単位(生産量あたり)】	m ³ -t	0.63	0.621	0.617	0.614
			-1.5%	-2.0%	-2.5%
④グリーン購入の拡大	%	52.0	53.6	54.1	54.6
			+3%	+4%	+5%
⑤化学物質の徹底管理	-	徹底した管理と維持 継続	継続	継続	継続
⑥製品の販路拡大	-	環境配慮製品の 販路拡大を目指す	前年度+1社以上！	前年度+1社以上！	前年度+1社以上！
⑦遵法対策の実施	-	制定、改正の確認 及び評価	継続	継続	継続
⑧教育・訓練の推進	-	全体教育の実施緊急 時対応訓練	継続	継続	継続
⑨地域貢献の拡大	-	酒匂川清掃 活動の参加	目標5名以上！	目標5名以上！	目標5名以上！

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.403

(令和6年度実績:株式会社 新出光)

※ グリーン商品購入数／全(用品)購入数×100(%)

月毎ではなく年度単位で購入率を比較

※ 近年は全体的に大きく変動(下降)があり、また会社を取り巻く環境の変化等から
基準年を2021年に設定し、新たにに取り組むことにしました。

4. 環境経営計画

4-1. 環境経営計画(項目)

①二酸化炭素排出量の1.5%削減

環境経営内容	取組項目
1. 電力使用量の1.5%削減	パソコン及びモニターの電源管理
	エアコンの温度設定の改善とフィルターのこまめな清掃
	LED化の促進(主に工場作業場)
	不要な照明の消灯、蛍光灯自体の撤去
	各機材の省エネ仕様への切り替え
2. ガス使用量の1.5%削減	給湯器の使用効率化・使用後確認チェック 周辺器具(ホースなど)の点検、修理
3. ガソリン使用量の1.5%削減 4. 軽油使用量の1.5%削減	車両の点検整備の徹底
	エコドライブの徹底
	アイドリングストップの実行
	配車計画の効率化 車使用の削減(自転車、宅配利用)

②廃棄物排出量の1.5%削減

環境経営内容	取組項目
1. 段ボール屑の削減	製品不良率の低減 紙類のリサイクル先の検討

③水使用量の1.5%削減

環境経営内容	取組項目
1. 節水活動	フレキシソ洗浄の合理化
	トイレの節水(音消し装置の活用)
	配水管漏れチェックと対策の実施
	日々の使用水量管理

④グリーン購入の拡大 目標3.0%増

環境経営内容	取組項目
1. グリーン購入の拡大	工場用品のグリーン購入推進、その他エコ商品の調査

⑤化学物質の徹底管理

環境経営内容	取組項目
1. 化学物質の徹底管理	徹底した管理と維持継続
	安全データシート(SDS)の確認と運用
	使用担当者への教育
	専用の講習会への参加

⑥製品の販路拡大

環境経営内容	取組項目
1. 製品の販路拡大	展示会やクラフトいちなどへの積極的な参加 ホームページを利用した施策

⑦遵法対策の実施

環境経営内容	取組項目
1. 遵法対策の実施	制定、改正の確認及び評価と廃棄管理

⑧教育・訓練の推進

環境経営内容	取組項目
1. 教育・訓練の推進	全体教育の実施と緊急時対応訓練

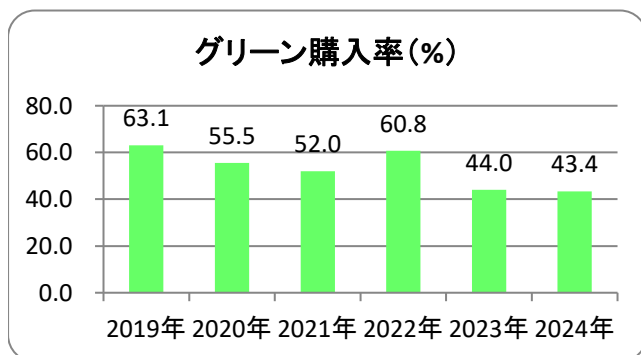
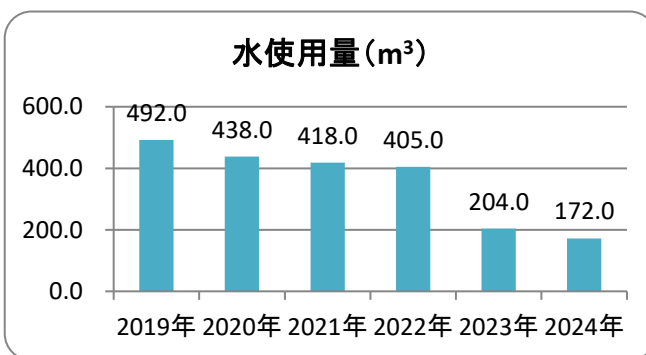
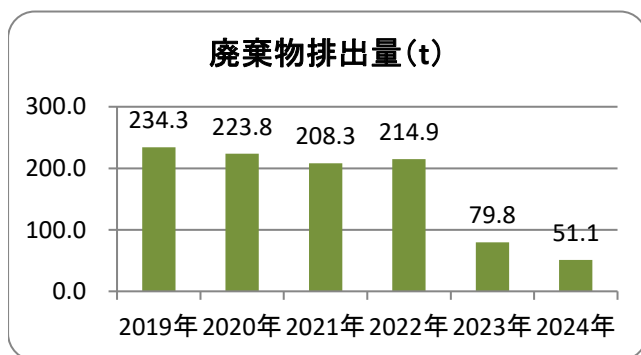
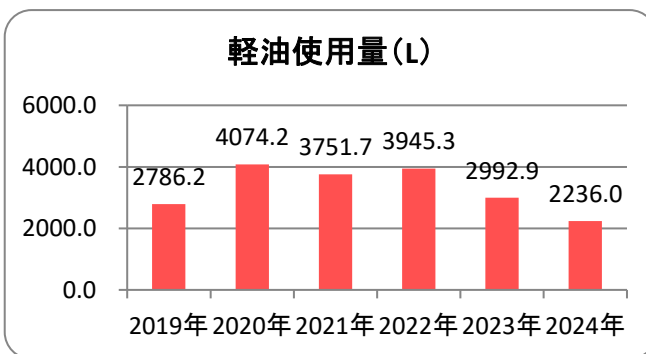
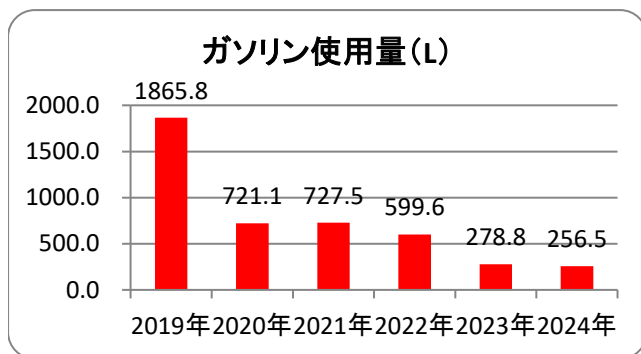
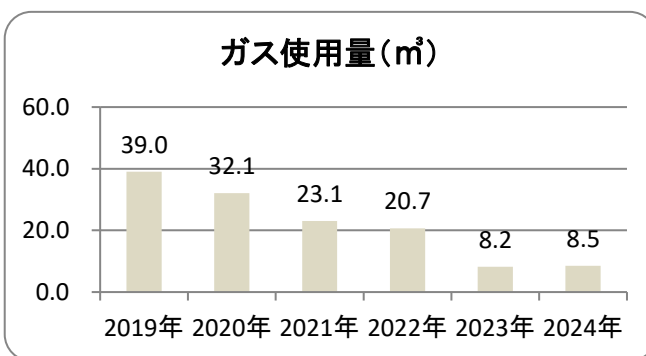
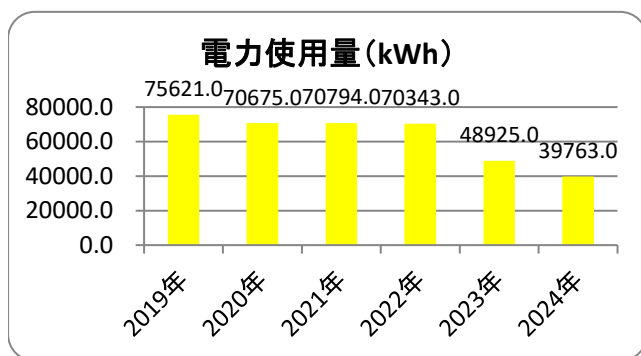
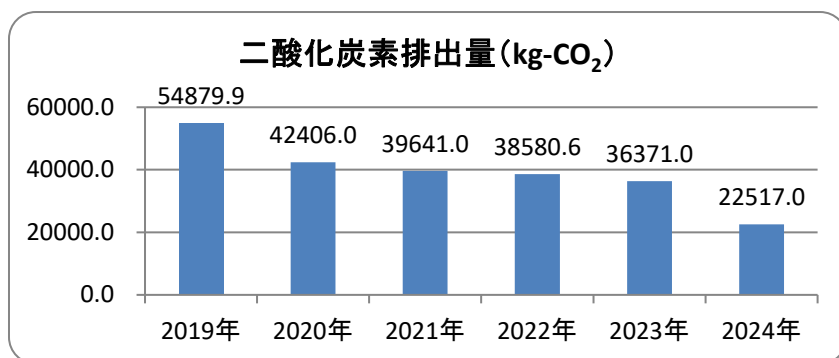
⑨地域貢献の拡大

環境経営内容	取組項目
1. 地域貢献の拡大	地域の清掃活動への参加
	地元の環境活動への自主的参加の推進

4-2. 環境経営目標の実績と取組結果

環境経営目標	単位	2024年度 目標値	2024年度 実績	達成 区分
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	39,046.4 基準年度-1.5%	22,517.0 58%	○
1. 電力使用量の削減	kWh	69,732.1 基準年度-1.5%	39,763.0 57.0%	○
2. ガス使用量の削減	m ³	22.8 基準年度-1.5%	8.5 37%	○
3. ガソリン使用量の削減	L	716.6 基準年度-1.5%	256.5 36%	○
4. 軽油使用量の削減	L	3,695.4 基準年度-1.5%	2,236.0 61%	○
②廃棄物排出量の削減	t	205.2 基準年度-1.5%	51.1 25%	○
③水使用量の削減	m ³	411.7 基準年度-1.5%	172.0 42%	○
④グリーン購入の拡大	%	53.6 基準年度+3.0%	43.4 81%	×
⑤化学物質の徹底管理	—	徹底した管理と 維持継続	継続できています	○
⑥製品の販路拡大	—	取引先拡大 目標+1社以上！	取引先拡大 +3 社	○
⑦遵法対策の実施	—	制定、改正の 確認及び評価	遵守できています	○
⑧教育・訓練の推進	—	全体教育の実施 緊急時対応訓練	教育・訓練実施完了	○
⑨地域貢献の拡大	—	参加の継続 目標5名以上！	5/12開催 今回の参加者は7名	○

4-2. 環境経営目標の実績と取組結果



4-3. 評価と次年度の取組内容

①二酸化炭素排出量(電力、ガス、ガソリン、軽油)について

前年度より生産量が30%減少した。

電力は稼働日、稼働時間が減少した事により20%の削減が出来た。燃料関係は、納品する積載量は減っても走行距離は従来とあまり変わらないので、削減効果があまり出ていない。ただし、軽油に関しては主力のトラックの輸送回数が減った効果が出ていると考えられる。

②廃棄物排出量について

段ボールの総使用量は前年度より30%減少したが、廃棄物排出量では35%減らす事が出来た。不良率の低下、歩留まりの量を抑えた成果が出たと考えられる。

③水使用量について

大半が生活用水(トイレ)である為、現状維持を心がける。
また、漏水等が発生していないか毎日の使用料は把握していく。

④グリーン購入の拡大について

前回と同様に製造に関わる物品での成果が出づらい。
事務用品など間接部門での購入が主になるが、現状を維持していく。

⑤化学物質の徹底管理について

以前から懸案事項であった製版で使用していた化学物質の使用を終了した。
今後は保管することも無くなるので、新たな化学物質の使用が発生する事がなければ管理を終了する。

⑥製品の販路拡大について

一昨年度より販路拡大の為のチラシの投函とSNSの発信は継続中。前年度はクラフトいちへの出店を定期的に行い、エンドユーザー向けの商品の開発を行った。

⑦遵法対策の実施について

引き続き該当する法律の改正の有無を調査し、法令に則した業務を実行していく。

⑧教育・訓練の実施について

安全パトロールの結果の報告や、ヒヤリハットの事例の紹介を定期的に行った。また、防災訓練の際に全員で工場内の巡視を行い、危険箇所の確認や回避の方法を共有した。

⑨地域貢献の拡大について

毎年開催されている地域での河川の清掃活動にも継続して参加していく。
更に参加人数を増やしていきたい。

4-4. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標		単位	2025年度目標値	環境経営計画	責任者	日程
①二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	38,848.2 基準年度-2.0%	・電力、化石燃料使用量の削減 ・不良率の低減 ・今後の生産状況を見て目標値と基準年度の見直しをかける	尾下社長	年度末
	1. 電力使用量の削減	kWh	69,378.1 基準年度-2.0%	・パソコン・モニターの電源管理 ・エアコンの温度管理とフィルター清掃 ・工場作業場部分照明のLED化 ・不要な照明の消灯・間引き ・各機材の省エネ仕様への切り替え	尾下社長	3ヶ月毎
	2. ガス使用量の削減	m ³	22.6 基準年度-2.0%	・給湯器の使用効率化 ・使用後の確認チェックの強化 ・周辺器具の点検、修理	安藤係長	3ヶ月毎
	3. ガソリン使用量の削減	L	713.0 基準年度-2.0%	・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの実行	安藤係長	3ヶ月毎
	4. 軽油使用量の削減	L	3,676.7 基準年度-2.0%	・配車計画の効率化 ・車使用の削減(自転車、宅配利用)		
②廃棄物排出量の削減		t	204.1 基準年度-2.0%	・製品不良率の低減 ・紙類のリサイクル先の検討	尾下社長	年度末
③水使用量の削減		m ³	409.6 基準年度-2.0%	・フレキシ洗浄の合理化 ・トイレの節水(音消し装置の活用) ・配水管漏れチェックと対策の実施 ・日々の水使用量の管理	尾下社長	3ヶ月毎
④グリーン購入の拡大		%	54.1 基準年度+4%	・工場用品のグリーン購入推進 ・文房具系統以外にも対象を拡大	安藤係長	年度末
⑤化学物質の徹底管理		-	徹底した管理と維持継続 ※2024年内で有機溶剤に関しては使用取り止め	・徹底した管理と維持継続 ・安全データシート(SDS)の確認と運用 ・使用担当者への教育 ・専用の講習会への参加 ・廃棄時の処理の確認	尾下社長	年度末
⑥製品の販路拡大		-	取引先拡大 目標+1社以上!	・環境配慮製品の販路拡大を目指す(展示会への出展等) ・ネット環境を利用した施策、企業HPでの販売 ・クラフトいち等への出店	尾下社長	年度末
⑦遵法対策の実施		-	該当法規の更新チェック	・制定、改正の確認及び評価 ・複数のサイトも調査 ・廃棄時の記録の管理	安藤係長	毎月
⑧教育・訓練の推進		-	教育・訓練の全員参加	・全体教育の実施と緊急時対応訓練	尾下社長	訓練実施毎
⑨地域貢献の拡大		-	参加の継続 目標5名以上!	・地域の清掃活動への参加 ※地元の環境活動への自主的参加の推進	尾下社長	5月

わたしたちの取組

今年からクラフトいちへ出店！！
ねこグッズを中心に展開しました



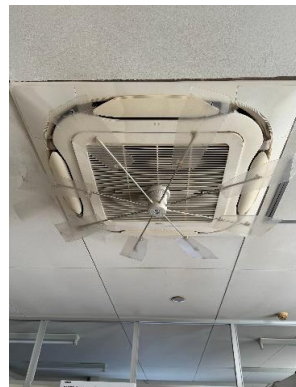
クリーンさかわ
酒匂川の清掃活動



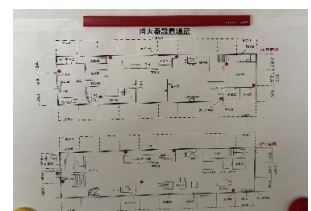
食堂には安全衛生の情報や
会社の活動も掲示してます



地域の人みんなで
一緒にゴミ拾い



エアコン・トイレ・電気でも
エコ活動(^o^)



防災訓練時に
消化器の配置を確認！



5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等の遵守状況は下記の通りです。

環境関連法規	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物(事務・厚生系)、産業廃棄物(段ボール屑・廃油等)
騒音・振動規制法	印刷機械(1台:フレキシダイカッター)
消防法(危険物)	IPA(指定数量の1/5未満)
神奈川県生活環境保全条例	指定事業所・敷地境界線における騒音の規制

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果

- ・ 違反なし(過去3年間)
- ・ 訴訟なし(過去3年間)

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

2024年 11月 1日 見直し実施

見直し結果

項 目	変更の必要性
環境経営方針	変更の必要なし。
環境経営計画	変更の必要なし。
環境経営システム全体	変更の必要なし。

代表者による全体評価

2024年は、ほぼ全ての項目で目標を達成する事が出来た。生産量の減少という要因もあるが、製造工程の見直しや節電の効果が出たものと考えられる。工場内の照明も一部はまだ以前の蛍光灯が残っているので、今年度中に、更にLEDへの交換を実施する予定である。

また、販路拡大では以前行っていたチラシ配りや飛び込みの営業だけではなく、SNSの更なる活用や、クラフトいちへの出店を通じて当社の認知度を上げる取り組みをしているが、少しずつ効果が表れている。今後は更なる販路拡大を目指し、取り組んでいてもらいたい。

地域貢献の1つとして参加している地元の河川の清掃活動も、参加人数が増えたが毎年決まった参加者に限られているので、今まで参加していなかった人たちにも促していきたい。



エコアクション21 環境経営レポート

運用期間：2023年10月21日～2024年10月20日

発行日：2024年 11月 20日



尾下紙業株式会社 小田原工場

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町3丁目1番地22号

TEL: 0465-34-3250